

「不正改造車を排除する運動」及び「ディーゼル黒煙クリーン・キャンペーン」について

国土交通省では、去った六月一日から六月三十日までの一ヶ月間を「不正改造車を排除する運動」の重点期間と定め、「ディーゼル黒煙クリーン・キャンペーン」と連携しながら、関係省庁、自動車関係団体等と協力して本運動を全国的に展開しました。

近年の交通事故の発生状況および大都市地域における自動車の排ガス、騒音等による環境の悪化が深刻な社会問題となっている中で、特に暴走行為、過積載等を目的とした不正改造車は、道路交通の秩序を乱すとともに、環境悪化の要因ともなっています。本運動は、道路交通の安全確保、公害防止を図るための施策の一環として平成二年度から実施されているものです。

実施し、自動車ユーザーへの社会的責務に対する自覚を促しました。

自動車は、その安全性の確保及び公害の防止を図るため、構造、装置及び性能について必要最小限の技術基準（道路運送車両の保安基準）が定められていますが、国等の行う検査を受けた後に保安基準に抵触する不正改造を行うユーザーが後を絶たないことから、これらの不正行為に対する規制を強化するため平成十四年に道路運送車両法の一部が改正され、本年四月一日に施行されました。

本運動期間中の街頭検査においては、特に、

窓ガラスへの着色フィルム等の貼付による視認性、被視認性の低下

クリアレンズ等不適切な灯火器の取り付け

マフラーの交換等による騒音の増大

燃料ポンプ封印の取り外し等によるディーゼル黒煙の悪化

に重点を置いた検査を行いました。同期間中における検査結果

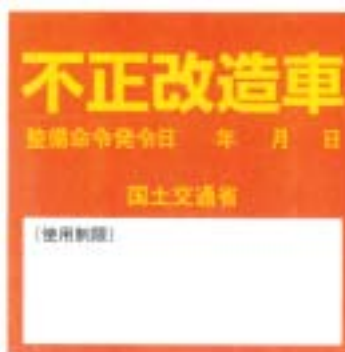
運動期間中の街頭検査結果

実施回数	出動員数	検査車両数
6	163	871
整備不良車両数	不正改造車両数	整備命令件数
88	98	74

は、別表のとおりとなっています。これら違反車両のユーザーに対しては「整備命令書」を交付するとともに、今回の法改正により新たに導入された「整備命令標章」を当該車両の前面ガラスに貼付しました。



ディーゼル黒煙の検査



整備命令標章



クリアレンズ等不適切な灯火器の取り付け